

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 ともし木

公表日 R7 年 3 月 17 日

利用児童数 R7 年 3 月 1 日 現在 19 回収数 17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				・まるで保育園みたい。 ・十分なスペースがあり、常に清潔で活動しやすいです。 ・室内で運動できて良い。	親子での活動場面では、狭く感じることもあるかと思いますが。活動の内容により、室内を区切ることや物の配置などを変え、室内で体を動かせるように工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		1	・今よりも受け入れ人数が増えるのであれば増員が必要に感じる。	1日の定員は、10名と変更予定はありません。また、9:00-14:00・延長時間の配置必要人数は、確保されています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1	・トイレ内でジョイントマット1枚ずつに子ども達の名前が書いてあり、その上でパンツをはかせる仕組みになっているが、使うたびに清潔にしているのか？と、思うことがあった。 ・清潔に掃除が行き届いていて、快適に過ごすことができている。 ・トイレも清潔で、子どもの背丈に合ったサイズなので助かります。 ・とても清潔感が合っていて良い、季節に合わせた制作活動、展示が合っている。	トイレの個別ジョイントマットは、毎日の清掃と消毒を行っています。また、使用中に汚れた際には、消毒を行っています。子ども達が自分以外のマットを踏まないよう、立て掛けるなど気を付けています。 継続した、清掃・消毒を心がけ、季節に合わせた壁面製作を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			1	・こどもの特性に合わせて、専門性の高い支援を受けられる、分かりやすく教えてもらえる環境です。 ・幼稚園での困りごとを相談すると、対処法をともい木の活動に取り入れてくれる。 継続的に、声掛けをしてもらえる。	作業療法士など、専門の資格を持った職員はいますが、アセスメントなどを参考に子ども達の発達や特性に合わせた支援に取り組んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・本人の性格や保護者の相談事項をしっかりと反映した支援計画を頂いていると感じています。	相談員との連携を図り、こどもと保護者のニーズに沿った支援計画をこども達の発達に沿った個別支援計画を作成するように、心がけています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				・しっかりと寄り添って支援頂いていると認識しています。 ・子どもの年齢や成長に合わせた支援がされている。	継続して、支援計画を意識し、こども達の成長に寄り添った支援を、今後も継続して取り組んでいます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1		1	・季節の行事（運動会やクリスマス会など）がたくさん行われている。	発達の基礎である、運動や感覚などの課題も含め、繰り返し取り組むプログラムなど固定化されているように感じる内容も多いかと思いますが、様々な課題の経験を通して、同じ教材でも個別にステップアップをして取り組んでいます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	3	4	未回答 1	現状、移動手段や体制・活動内容など、様々な理由にて他施設・地域の保育所や幼稚園との交流は行っておりません。併用して利用しているこどもが多いため、現段階での交流は考えておりません。 保護者の方からの希望により、併用先の保育所や幼稚園などとの連携は、継続して図っていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17				・ 毎回、勉強になります。	専門的なペアレントトレーニングは行っていないですが、家族連携支援や親子参加日・保護者向けの勉強会などに取り組んでいます。今後も、家庭で取り組みやすい支援について、積極的に取り組んでいきたいと思います。また、参加日や勉強会の日程について、参加しやすい形を今後も検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1			・ きちんと伝え合うことができてから、小さな成長にも気づけるようになりました。 ・ 常に軽微な事でも共有頂き、把握できています。	利用日の送迎時には、その日の状況などをお知らせしています。こども達の体調面については、各家庭から提出して頂いている基本情報を元に職員間で把握し、気候や生活環境などの状態に変化があった際など確認・共有できるように、健康観察ノートなどを利用しています。今後も、声を掛けやすい関係性が図れるようにしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				・ 困り事が発生した時に、いろいろ提案・アドバイスをしていただけるので助かります。 ・ 気になることや困ったことがあった時、いつも親身になって話を聞いてもらっています。いつも本当に助かっています。	今後も、気になることから困ったことなど、保護者の声に耳を傾け助言や支援を継続して取り組んでいきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7 (うち、保護者に関して)	6	1 (兄弟に関して)	4	・ 兄弟の交流は知らない。 ・ 保護者との交流はあるが、きょうだい向けのイベントは分からない。 ・ 仕事の都合で、なかなか全てに参加できないのが現状です。 2チェック1名	親子参加日や勉強会、年2回の保護者懇談会など、保護者同士の交流の機会を行いました。保護者の交流イベントなども検討していましたが、予定が合わず開催できませんでした。今後も、保護者の方が交流できる・しやすい形を模索したいと思います。父母の会など、保護者会の設立については、現時点では考えておりません。きょうだい向けのイベントについては、親子参加日の内容を利用児の支援について学べる場と考え取り組んでいるため現状行っていません。送迎時など、ごきょうだいが少し支援に参加する場面などはありますが、交流までには至っておりません。きょうだいを含め、家族で参加できるようなイベントは現時点では考えていませんが、夏休み期間など親子参加日に参加しにくい状況もあるため、検討していきたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17				・ 相談事項を連絡帳に書いたり、お話しするとすぐに対応してくださり、大変ありがたいです。必要時は家庭連携も行ってくれます。	相談や面談の希望がある際には、健康観察ノートにて希望を伝えることができることを、利用開始時にお伝えしています。また、豊所・降所時にもご相談しやすいような関係づくりに取り組んでいます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				送迎時に声掛けを行うことや健康観察ノートを利用し、情報交換など行っています。送迎にて、父母の都合がつかず、直接伝えられない際も、健康観察ノートを利用していただけるよう周知していきます。また、気になることがあった際に、声を掛けやすい関係づくりも心掛けたいと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		1		普段の様子について、ホームページなどには載せていますが、毎月、活動や行事についてなど『ともい木たより』や各行事のお知らせを発信させていただいています。また、自己評価の結果については、1ヶ月ほど子ども達の出入口側に掲示し、その後は正面玄関出入口に掲示続けています。また、掲示期間中にホームページでも見ることができていることを周知していきます。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1				不審者を想定した訓練や事故・感染症などに対応した訓練も行っています。訓練を行った当日には、ホワイトボードを使用し、後日ともい木たよりにて取り組んだことを周知しています。今後は、保護者に向けたマニュアル作成や周知説明を年度初回の保護者懇談会などでできればと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		1		火災や地震などの災害に備え、定期的な避難訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		1		事故等が発生した際には、状況について送迎時や電話にて説明をさせていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16			1	・優しく、時にはきちんと指導してくれる先生方が大好きで、安心して通所できています。 ・家や園ではできないことも、ともし木では頑張れるということもたくさんあります。先生との信頼関係が築けていると思います。	生活リズムや季節・環境の違いを受け入れることは、幼児期のこども達にとって大変なことです。その中で、子ども達の状態・気持ちの波や体調に留意しながら、頑張れる力の育ちを育む中で信頼関係を今後も育んでいきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	1		・毎回来しかったと言って、どんな活動をしたのか、先生たちと話したことをよく教えてくれます。	ともし木の療育を頑張っているこども達は、楽しいことも難しいこと・苦手なことにも取り組んでいます。楽しい・好きなことばかりではない中で、見る力・聞く力が育ち、挑戦する力・頑張る力のはじめの1歩が育ちていると思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			1	・ともし木に通い始めて言葉が増え、できることが増えました。ともし木に通うことができて本当に良かったと思っています。 ・大満足です。 ・通いはじめてから、子どもが成長していると感じています。子どものことだけでなく、親の話も親身になって聞いてもらえ感謝しています。	こども達・保護者の方と一緒に“ともに育ち・ともに生きる”施設を目指し、ともし木を利用して良かったと思えるよう、今後も支援の向上を図っていききたいと思います。